

「めざせ 日本一！」  
— 心と力を合わせよう —

「幸せを願って」

NO.258

H28. 1. 6 (水)  
(株) ユ キ  
ダスキン新居浜支店  
社長 小野 正師

「百年の計、我にあり」

合掌 平成28年の輝かしい新年、明けましておめでとうございます。本年は、大変穏やかで温かな気持ちの良いお正月でした。皆さまも、ご家族お揃いになりゆつくりと過ごされましたか。本年もどうぞ宜しく願いいたします。

さて、正月の3日(日)に、新春スペシャルドラマ「百年の計、我にあり～知られざる明治産業維新リーダー伝～」が放映されました。私の住む新居浜・別子銅山を舞台にしたドラマでしたので、恐れ入りますが、新春第31号はこのドラマの感想を中心に述べさせていただきます。

昔の新居浜地方一帯はさびれた農漁村でしたが、元禄4年(1691)の別子銅山の開坑により、住友関連企業群を中心に四国屈指の工業都市として生成発展を遂げてきました。現在の人口は、約125,000人。これでも、数年前の市町村合併までは、四国の4県庁所在地に続き、5番目(現在は6番目)に大きな町でした。今も人口減少は続いています。住友の企業城下町として、幾多の困難を乗り越え、隣の西条市(旧西条市・東予市)と共に栄えています。

このドラマの中で一番印象に残ったものは、「百年の計」と「天下国家」という二つの言葉でした。

百年先を考える。百年先の責任を考える。自分がこの世にいなくなった、三代から四代先を考える、想いを馳せると言うことです。このことは、子が生まれ、孫が誕生してから気づき出しました。個人は一代ですが、企業や法人は末代。永く続ける事が重要です。佐藤芳直先生は、「企業の最終目的は、永続にある」と喝破され、まず100年続く企業づくりを目指すこと。そして、一時的な利益や量に目が眩んで質を妥協しないこと(住友の家訓の一つは「浮利を追わず」です)。経営不振の80%は、内部要因にあること。経営情熱を常に高く保ち続けること。それらを厳しく問われています。すなわち、経営とは高邁な理想を常に追求し続けることなのです。

百年先のことは、誰にも分かりません。加盟店会理事長を拝命した時の、「100年続くダスキンへ」-強くなやかな加盟店づくり- というスローガンに対し、様々なご意見を頂戴しました。忸怩(じくじ)たる思いもありました。しかし、100年続く企業になれるなら、間違いなく地域の人々に必要とされ、支えられる企業となりましょう。ダスキン鈴木創業者の理念を、現場や地元浸透させることも可能でしょう。多くの人を雇用し、地域社会に貢献もできます。ダスキンが提唱するお掃除文化を通して、学校教育や家族の健康・幸福、家庭の安心・安全に役立つこともできます。

短期的には、個人の儲けや私的な欲望を追求し達成することはできます。しかし、100年続けると言うことは、それだけではなく、個から公へと意識をシフトする、とても重要なことです。私利私欲や目先の損得を超越した、母親的な無償の愛と父親的な大義に生きる死生観がなければ難しいのではないかと思います。後に続く人のために、皆が良くなるために、どうすればいいのかを話し合い、切磋琢磨し続けなければなりません。

「その仕事は、100年先まで人々を幸せにできますか?」、厳しい問い掛けですが、常に心したいと思っています。

さて、「天下国家」については、戦後教育の変化により、個人主義と平和・平等教育と言った個を主体的に尊重としたものとなり、公の意識は随分遠のいてきたように感じます。しかし、自由の前には責任があり、国の安全が守られ社会の安定があつてこそ、個人の自由が保証されます。自分さえ良ければ、と言うのは子どもです。失礼! 子どもさんの方が大人より、よっぽど聞き分けが良いですね。常に、社会の一員としての自覚が必要です。全体があつて、個が守られる。もちろん、どちらかに行き過ぎないバランスも大事です。

ダスキンの事業で、国に貢献する。国民の生活を心豊かな健康的なものにする。新しい日本文化を創ってゆく。ダスキン全体のために、日本のために、広く天下国家を見て、100年先の未来を考える。そんな私たちになれないかと夢見ています。少し大げさかもしれませんが、お正月ですのでお許してください。

私の近未来の夢は、クリーンの分野では、全国のHS550万軒、BS130万事業所全ての顧客情報がデータベース化され、そのニーズに応じた新しい商品やサービスが開発され、益々ダスキンが地域社会に必要とされています。システムも統合されました。本部と加盟店は、従来のFCの関係を越え、地区販社が誕生し営業本部が一体化され、優秀な加盟店の若手も本部の企画・開発・運営の要に抜擢され始めています。生産本部では、レンタル商品(マットやモップ)にICタグやチップが導入され、トータル的な品質・在庫管理に活かされています。理念を共有し人間性の優れた同志が、顧客のために地域のために、コンシェルズ・ハイジーンマスターとして活躍中です。

ダスキンの社会的使命は、何であるか。私たちは、ダスキンを通して、どう社会貢献して行くのか。個人と全体の調和を図るために、まずはしっかりと自分を創り、足元から固めて行きたいと思います。今年も、どうか宜しく願い申し上げます。

ありがとうございました。合掌

\* 新居浜支店の皆さまへ

改めまして、明けましておめでとうございます。昨年は、年の瀬の30日ギリギリ遅くまで、仕事納めが続いたケアや業務管理。ホームインस्टッドでは、年末年始・お正月も稼働していました。本当にお疲れさまでした。

新年4日(月)は、仕事始めの日。3~40名の仲間が出勤してきて、朝一番の笑顔と握手から始まった全体朝礼。全員の心がひとつになった、それは見事な年次モットーと経営理念の唱和が元気よく、一糸乱れぬ一体感を醸成してくれました。新年の熱い良いスタートが切れました。今年も、皆さんの気持ちをひとつにして、調和の取れた業務運営を宜しく願いいたします。

ありがとうございました。合掌